

大阪府・市の国家戦略特区プロジェクト提案の具体化に向けて

～「日本再興戦略」を具体化し、“成長戦略”を実現～

医療等の国際的イノベーション拠点形成し、我が国経済の活力向上と持続的発展に寄与するため、下記の国家戦略特区プロジェクト等を提案（9/11）

国家戦略特区 プロジェクト提案

（免疫治療・再生医療等分野）

① **大阪大学**に『免疫・再生医療等の未来医療産業化国際展開拠点』を整備

（医療機器等分野）

② **国立循環器病研究センター**を核として『国際級のオープンイノベーション「複合医療産業拠点」』を形成

全国から前臨床～臨床試験を受入れ

世界から
医療従事者受入れ
医療機器等の
パッケージ輸出



研究開発費の配分 （ファンディング機能）

⇒ **医薬基盤研究所**に
ファンディング機能を

※前政権における事業仕分けで医薬
基盤研究所による医薬品の実用化
研究支援を廃止。（約80億円）

提案プロジェクトを具体化

既にある機関、機能や
関西の豊富な人材等
を活かす

基礎～応用～開発研究へ 繋ぐ「橋渡し」

⇒ **医薬基盤研究所**を
活かすことが不可欠

- ・創薬支援戦略室
（基盤研に創薬支援ネットワークの本部機能）
- ・スクリーニングセンターを整備中
（バイオ医薬品等の創薬研究機能を強化）

創薬支援
ネットワーク

連携

PMDA

PMDA
関西支部（大阪）



米国NIHの
重要な機能

**米国並みの機能を持つ日本版NIHの実現
により国家戦略特区の具体化を！**

府市提案①②の
経済的貢献度として
2030年 約2.2兆円を見込む
（経済産業省資料等から試算）

〔参考〕 米国NIH・・・ファンディング機能だけでなく、27の直属の研究所を有する。H24年 新薬の開発速度を高めることを目的に、前臨床・臨床研究及びNIH所内・所外研究の支援等を行う橋渡し機能（研究所内外の研究支援）を創設